

# グローバル化に対応した外国語教育の推進

## ■研究指定・委嘱地域(校)

糸島市教育委員会(波多江小学校、怡土小学校、前原東中学校)  
宮若市教育委員会(宮若西小学校、宮若西中学校)

## 研究の目標

小中連携による外国語教育の推進体制を構築し、新学習指導要領に応じた7年間の教育課程の編成、授業づくり、評価の在り方について究明する。

## 研究の実際

### 糸島市の実践

## ■視点1：新学習指導要領に応じた7年間の教育課程の編成と評価の工夫

小中一貫した7年間の学習到達目標を設定し、各学年の「目標・評価計画一覧表」を作成することで、目標と指導と評価の一体化を図りました。目標と評価を明確にしたことで、小・中学校とも各学年の授業づくりが具体化され、実践されるようになりました。

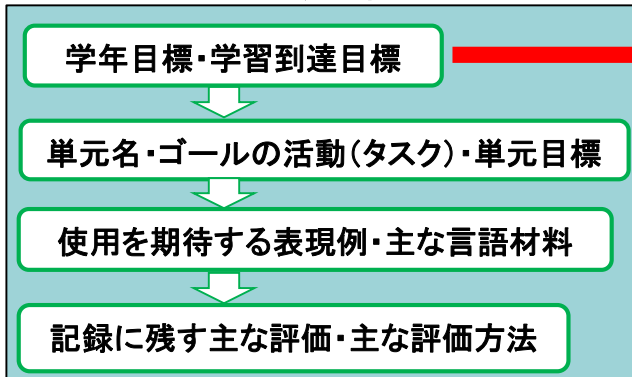
★糸島市では、新学習指導要領に応じた教育課程の編成、授業づくりと評価について、次のとおり取り組みました。

### 【外国語活動・外国語科年間指導計画 ※一部抜粋】

小3	中3
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般動詞</li> <li>時制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問詞</li> <li>助動詞</li> <li>後置修飾</li> <li>文型</li> </ul>
外国語科(小学校高学年) NEW HORIZON Elementary 小学校5年 配当時数70時間 Unit 1 Hello, friends. 【一般動詞・like】 Unit 2 When is your birthday? 【一般動詞・live, go, watch】	小学校6年 配当時数70時間 Unit 1 This is me! 【一般動詞・like, play, want】 【助動詞・can】 【疑問詞・when, where, what】 Unit 2 How is your school life? 【一般動詞・live, go, watch】
	中学校1年 配当時数140時間 Get Ready コミュニケーションを楽しもう Lesson 1 I am Tanaka Kumi 【be動詞】 Lesson 2 My School

小3～中3をつなぐ年間指導計画を「表現」「活動」「内容」別に作成しました。これまでに扱った表現や活動をすぐに確認することができ、既習を活用した授業づくりや指導の軽重に活かしています。内容では、糸島をトピックにした単元も位置付けています。

### 【目標・評価計画一覧表の構成】



### 【CAN-DOリスト ※一部抜粋】

中学3年生 何ができるようになるのかな

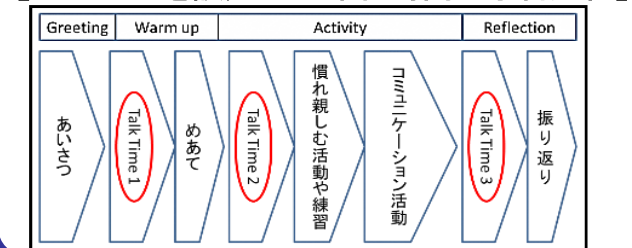
**I can do it!**

単元別 CAN-DO リスト

- Lesson 3 Rakugo Goes Overseas  
糸島の文化・名所や特産物の紹介ブックを作り、ALTに糸島の魅力を伝えることができる。
- Lesson 2 France - Then and Now  
自分がこれまで経験したことをもとに、フランスに自己紹介カードを多く作成することができる。

児童生徒に、単元別CAN-DOリストを配布し、1年間で何ができるようになるのか共有しました。

### 【Talk Timeを設定した1単位時間の学習過程】



目標・評価計画一覧表には、学年目標や学習到達目標、タスクと使用を期待する表現例等が示しています。評価の観点も年間でバランスよく設定され、目標と指導と評価の一体化を図った指導に活用しています。また、対話的な言語活動(Talk Time)を目的に応じて設定する授業を小中で実践しています。

## 研究の内容

- 視点1：新学習指導要領に応じた7年間の教育課程の編成と評価の工夫
- 視点2：小中連携による外国語教育の推進体制づくり

## ■視点2：小中連携による外国語教育の推進体制づくり

推進組織の3部会の連携と小中、小小間の連携の強化を図りました。全教員の共通理解の下で取り組むことができるよう、運営委員会と3部会の機能を明確にしました。運営委員会が3つの部会の調整を図ることで、学校間の連携につながりました。

★糸島市では、1中2小の連携を円滑に図る推進組織体制をつくり、小中、小中連携を次のとおり取り組みました。

### 【研究の推進組織】



小小・小中・部会同士をつなぐためのポイント

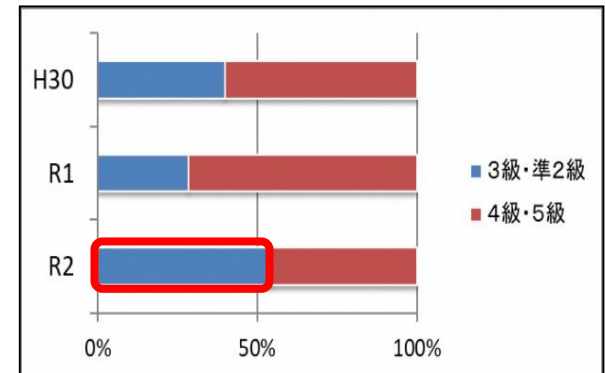
**ポイント①**  
各部会の役割を明確にする。

**ポイント②**  
各部会は3校の教員で構成する。

**ポイント③**  
拡大運営委員会は、各部代表も参加し、全体の推進状況を把握する。【協議、決定、共有】

### 主な研究の成果と課題

- 【成果】
- ・7年間をつないだ教育課程の下、小中で言語活動の充実を図る授業改善が進み、児童生徒の主体的な学びへとつながっています。
  - ・英検IBAの結果から3級レベル以上の生徒の割合が50%を超えました。
- 【課題】
- ・本研究で作成した年間指導計画や目標・評価計画一覧表を授業実践をもとに付加修正をしていくことが必要です。



研究の実際 宮若市の実践

■視点1:新学習指導要領に応じた7年間の教育課程の編成と評価の工夫

小中一貫したCAN-DO形式の学習到達目標を作成し、「タスクの設定」「Small Talkの設定」「CAN-DOリストの活用」の3つの着眼をもとに研究を進めてきたことで、言語活動を充実させることができました。

★ 宮若市では、新学習指導要領に応じた教育課程の編成、授業づくりと評価について、次のとおり取り組みました。

【領域別CAN-DOリストの活用 ※一部抜粋】

内容	技能	タスク	CAN-DO	対話例
日常生活や身近な話題、職業の魅力や大変さ、日常的に努力していることなど	○ 聞いたり読んだりしたことをもとに、身近な内容について、問答したり意見を述べ合ったりすることができる。(インタビュー、日本文化)	○ お世話になった小学校の先生に中学校の思い出を伝えよう ○ 有名人にインタビューしよう	○ メモやキーワードをもとに、関心のある事柄や日常的な話題について、質問や応答を繰り返しながら会話を継続・発展させることができる。 ○ メモやキーワードをもとに、関心のある事柄や日常的な話題について、質問や応答を繰り返しながら、即興で6ターン程度のやり取りをすることができる。	Hello. I'm going to talk about my junior high school life. I've been a member of the track and field club for three years. At first, it was very hard, but now I want to be a professional athlete. B: What did you do? A: I've learned a lot. C: Are you good at it? A: Yes. I'm proud of my personal record. If you have time, please come to see my race. C: Very nice. Do your best.
身近な話題(好きなものなど)について	○ 真実で発言し、手の言ったことしたりしながら自分の考えや気持ちを話す。	○ 自分のクラスの好きな教科ランキングを作ろう	○ 身近な話題について、動作を入れながら、1〜2往復程度の英語で話すことができる。	A: That's right.

各学年の前期と後期でCAN-DOを設定しています。

領域別に小3〜中3までをつないで1枚のシートに作成しています。

【各学年の単元配列表 ※一部抜粋】

学期	1学期							
単元名	Unit1				Unit2			
	This is me!				How is your school life?			
主となる領域と評価	聞くこと	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	読むこと							
	話すこと [やりとり]	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	話すこと [発表]							
書くこと								
基本表現	I'm ~. I'm from ~. I like ~. My birthday is ~.				I live in ~. I usually watch ~. My treasure is ~.			
タスク	プロフィールカードを作って、友達と紹介し合い、お互いのことをより知り合おう。				宝物を紹介して、友達のことをより知り合おう。			

- 単元の主となる領域を明らかにし、目標と評価が一体化できるようにしました。
- 各単元には、単元のタスクを設定しました。
- 1単位時間の授業導入では、基本表現等を使ってやりとりするSmall Talkを設定しました。

【CAN-DOリストの活用】

CAN-DOリストを基に、単元の評価シートと毎時間使用する振り返りシートを作成し、授業で活用しました。

Star Getシート(単元の評価)

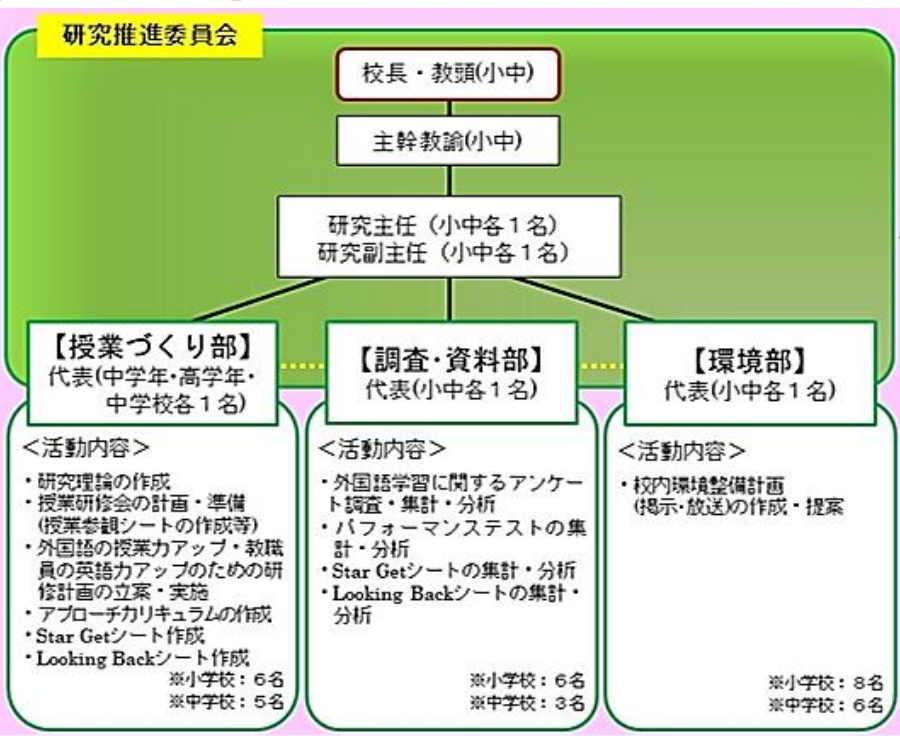
Looking Backシート(毎時間の振り返り)

■視点2:小中連携による外国語教育の推進体制づくり

研究推進委員会等の協議は、短時間で定期的に、効率よく行いました。各部の進捗状況を研究推進委員会で共有したり、協議事項の決定内容を紙面で全教員に配布したりして、全員で取り組むことを大切にしました。

★ 宮若市では施設一体型小中一貫教育校のメリットを生かした推進体制をつくり、小中連携による研究の推進に向け次のとおり取り組みました。

【研究の推進組織】

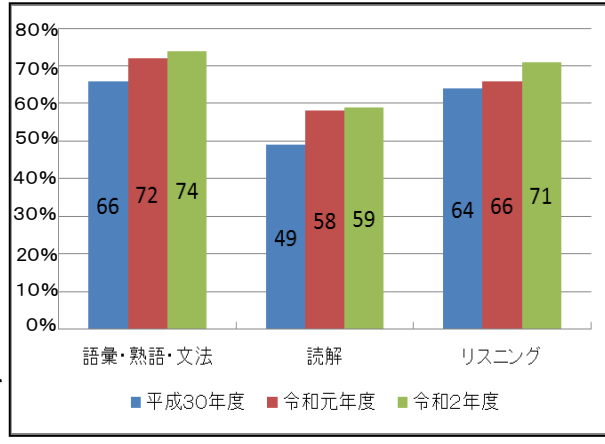


- 研究推進委員会の留意点
- ・ 研究主任と副研究主任で役割を決めて提案する。
  - ・ 確認事項を焦点化する。
  - ・ 決定事項は全教員に説明する。(共通理解)

小中の全教員が3つの部のいずれかに所属する。

主な研究の成果と課題

- 〔成果〕
- ・ 学習到達目標(CAN-DO)を基に作成した評価シートや振り返りカードを小中が共通に活用することにより、考えながら話す児童生徒の姿へと高まっています。
  - ・ 研究年度が進むにつれ、英検IBAの全ての分野で平均正答率が伸びています。
- 〔課題〕
- ・ 目標と評価や振り返りシートを関連させた取組を他教科等へ広げ、実践していく必要があります。



◆ 両市の研究における成果物は、県教育センターHPに掲載しています。

- 【糸島市】 □年間指導計画 □目標・評価計画一覧表 □児童生徒用CAN-DOリスト □指導事例
- 【宮若市】 □CAN-DOリスト □Star Getシート □Looking Backシート □指導事例